

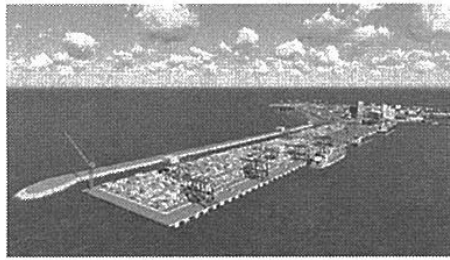
マダガスカル トアマシナ港拡張事業が起工

オリコンサルグローバルJV

設計などコンサル業務担当

オリエンタルコンサル
タンツグローバルJV
は、マダガスカル国トア
マシナ港における「トア
マシナ港拡張事業」の設
計、施工監理などを含む

コンサルタント業務を担
当しており、23日に同港
の起工式が執り行われ
た。起工式には、ヘリー・
ラジャオナリマンピアニ
ナ大統領、小笠原一郎駐



完成予想図(トアマシナ港湾開発公社提供)

マダガスカル日本国特命
全権大使らが参列した。
トアマシナ港は、マダ
ガスカル国最大の商業港
で、国際貨物の7割以上
を取り扱っている。しか
し、同国の急速な経済成

長と人口増加に伴う旺盛
な貨物需要によって港湾
インフラが十分対応しき
れておらず、恒常的な滞
船や貨物の遅配が同国の
さらなる経済成長を阻害
する要因の一つになって
いた。

今回の事業は、深さ16
メートルの大水深岸壁やコンテ
ナヤードの整備などを、
JICA円借款事業とし

て行うもの。ラジャオナ
リマンピアニ大統領
は、「総事業費は約450
億円であり、国史上最大
の公共事業になること述
べている。同事業は2つ
のパッケージからなり、
パッケージ1は20年、パ
ッケージ2は26年の竣工
を予定しており、港湾機
能の強化によって、同国
の経済発展に寄与する。